

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	市民発・地域資源ネットによる耕作放棄地の利活用事業
対象地域	茨城県日立市
活動概要	日立市は、人口約19万人の日立製作所を中心とした企業城下町であり、中心地を少し離れると緑豊かな田園が広がっている地域である。しかし、少子高齢化の進行も顕著に現れており、超高齢化率を迎えるのは全国平均に比べ4年も早いと予想されるなど様々な問題を抱えている。例えば、農業の面では、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより耕作放棄地が増加しただけでなく、景観・イメージが悪化するという問題も認識されている。商業の面からは、商店街の沈滞化と、これによる中心市街地の治安悪化という問題もある。一方では、企業退職者と近郊大学の若者というすばらしい人材や知識、海と山などの地域資源が活用されないままである。そこで、当法人はこのような問題を解決するために、これらの地域資源を活用して新たなコミュニティを創生しようと、既に4年前より市民農園を開設している。その実践から、市民、行政、大学など多様な主体のネットワークにより、大きな成果が達成できると確信している。本事業により、耕作放棄地の共同管理や利活用を通じ、行政や土地所有者の枠を超えた管理を検討し、都市住民からの期待の高いグリーンツーリズムや市民農園の運営など、地域ブランドの創出モデルを築き上げ、地域資源を生かしたネットワーク的地域づくりを目指す。
今年度の主な取組	①大学との連携により耕作放棄地実態調査を行ない、実態を把握した上で耕作放棄地管理プログラムを構築する。 ②「まちのたまり場・カフェ」を開く。 収穫した農産物を使って食事を提供するなどの、誰でもいつでも立ち寄れる「たまり場」の開設を目指し、実験的にオープンカフェを開く。商店街の賑わいを取り戻したい商店街と市民と若者の知恵の交流の場とする。
活動結果	本モデル事業で今年度を実施した活動の成果としては、まず、大学、行政、農業者、市民活動団体等との様々な主体との連携・協働ができたことを挙げることができる。with-youというNPO団体の事業を通じて、常磐大学と茨城キリスト教大学との間で(一部ではあるが)連携ができたこと、日立市・茨城県・国土交通省との間で学習会などを通じて連携がもてたこと、そして(一部ではあるが)市民団体にも学習会に参加してもらうことで理解を広げられたことなどが一定の成果として認められよう。次に、市民ニーズ調査の実施を通じて、食・農村地域・耕作放棄地等への関心と、都市と農村との交流について多くの知見を得ることができ、プログラム作りに参考になった。また、耕作放棄地の実態調査を通じて中山間部の実情を学ぶことができた。とりわけ地元の常磐大学・常磐短期大学・茨城キリスト教大学の学生の参加のより、次世代を担う若者の視点でこれをどう活用すればよいのかを考えてもらうことが出来、今後につなげられたことも成果であった。

<p>当初予想していなかった効果</p>	<p>耕作放棄地の現場で学ぶことによって若い学生の関心が高まったこと。超高齢化社会を迎えるのが全国平均と比べても4年も早いといわれるこの地の現状について、次の世代を担う若者に直接現場を見てもらい、考え、そして対策を考えてもらうということが出来たのは次につながるという意味でも大きな成果であった。</p>
<p>実施状況(写真)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>○学習会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○棚田実態調査の様子</p> </div> </div>
<p>応募団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 ひたちNPOセンター・with you</p>
<p>リンク</p>	<p>http://www12.plala.or.jp/NPOWY/</p>
<p>部局／担当者名</p>	<p>事務局長 田尻 英美子</p>
<p>連絡先</p>	<p>茨城県日立市弁天町2-12-10 TEL/FAX 0294-22-6292</p>
<p>推薦市町村名</p>	<p>茨城県日立市</p>